

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が地域密着型サービスの意義を踏まえ理解した上で理念を作成、職員の目につく場所に掲示、再確認の毎朝復唱し日々の実践に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に情報誌「どんぐり通信」を地域回覧に入れ、介護施設の種類や認知症の理解等を地域に発信又清掃活動、町内会総会等活動に参加し、災害訓練には協力頂き身近な介護施設として関係づくりしている。	・地域のイベントや地域清掃活動に参加し交流が来ている ・防災訓練に地域役員の参加を頂き災害時の支援連携について理解を頂いていた		地域とのつながりを密にしようとする姿は理解出来ました
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2か月毎に市や地域住民等有識者に活動を写真で報告、利用者アンケート、自己評価等についても報告している。又消防署員に災害対策などについて意見頂き運営に反映している	・運営推進会議は定期的開催されており、その中で詳しい状況説明があります		・住民からの地域情報など会議の際共有されている。 ・消火器訓練は毎回されたほうが良いのではないかと
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	活動状況や運営推進会議での議事録、自己評価等長寿安心センターや担当部署に届け又市の介護相談員の来訪も受けている、法人で困難な施設周辺の除草作業を市にお願いした	・包括では会議案内頂き出席して意見交換、支援している		あらゆる行政部署との連携は十分とれていると思います
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束適正化検討委員会を定期的開催し、スタッフ研修で全職員が禁止となる具体的な行為及び不適切なケアを理解し、身体拘束をしない尊厳あるケアを実践している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し、指針を理解し言葉による心理的虐待も含み、その中で討議を行い、スタッフ研修やミーティング等で発表研修を行い理解を深め防止に努めている。又身体拘束との関連も理解している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	委員会、研修、指針の整備等義務化されているので、年間計画の中で計画的に行ってください
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は研修等で学んだ内容をスタッフ研修はじめ機会ある毎に学び理解し、情報交換、共有に取り組み実践している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約前見学、面談時施設説明行い疑問解消する。契約時再度十分な説明行い納得理解図っている。改定時も説明行い理解納得できている。締結後に家族よりの疑問なかった			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設独時アンケート、意見箱等で意見要望苦情等聞く機会ある。又普段の面会時など細目に声掛け行い意見など言い易い雰囲気作りに努め支援の中に反映させている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者、家族の意見を聞き説明しケアに生かしているようだ
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議をはじめ代表者が施設を訪問する事も多く、その都度意見交換している。管理者は日々の関りや個人面談も行い職員が提案や相談のできる環境がある。			・折に触れ、代表者が施設を訪れ職員と触れ合い、その声を聴く機会を設けている
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	エンゲージメント運営を念頭に代表者は多方向による人事考課項目や労働条件アンケートを用い職員個々の実績や労働環境整備がされている。又様々な研修の機会もあり各自のスキルアップのできる環境がある。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年2回人事査定の際、本人と上司が業務成果について話し合い、能力向上につなげる制度が構築されている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の力量を適切に把握し外部研修や、内部研修又自ら希望する研修に参加できる様機会、勤務体制を確保している。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・計画作成担当者を東京で開かれた経営セミナーに参加させスキルアップに努めていた。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種研修(WEB研修)で参加者同士の交流や学んだことや、法人内施設交流での情報等、スタッフにも繋ぎ活用している。又同業者との交流を長寿あんしんセンターに依頼したこともあった。			・計画作成担当者を県外(茨木県)で開かれた施設の地域交流イベント(秋祭り)を視察させ、その成果を施設運営に役立たせるような指導をしていた
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態に合わせ役割りや居場所作りの一環に家事手伝い等の機会を作り、又職員と利用者が共に楽しく食事を摂っており、その際利用者の会話に学ぶことも多い。			・利用者が楽しんで生活出来る様に工夫されている
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会規制中であっても慣れ親しんだ来園者家族との交流場所を確保する為、ウッドデッキを活用し、感染予防を十分にした形での面会交流会で本人家族共に喜んで頂く事が出来た。		・感染症予防に気を配りながら、極力、家族との交流が持てる様に工夫されている	

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活歴や言葉や家族・職員からの情報等でその方の希望や意向に沿った支援を心掛け画一的にならず、その時々の方の気持ちを考慮し対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族面会時意見や担当者会議、スタッフ研修、職員モニタリング等の意見を活用し、利用者の意向に沿い、意向を察した計画書を作成している。状況変化時は随時見直しを行っている	・関係者との話し合い、それを反映した計画書作りは、非常に大切で素晴らしいと思います	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康チェック、排泄、飲食チェック、暮らしぶり、発語等個別に記録し、日課表、申し送り記録、職員情報を活用し介護計画見直しの資料としている。勤務前の情報確認は義務付けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診通院の支援や訪問診療、訪問看護の受け入れ、歯科医、管理栄養士、理学療法士、マッサージ等支援が必要時はその都度体制整え取り組んでいる。利用者より食事の注文がある場合献立変更する事もあった	・利用者を大切にする細やかな運営が見て取れます		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域での花見遠足、地域の保健所での胸部レントゲン、どんぐり通信等での情報発信、地域行事に参加や消防署員、市職員の来訪と協働を行っている	・ホームページや回覧に介護や認知症についての知識を伝授するどんぐり通信を定期的に発信し、地域と協働する素地作りに努めている。		・どんぐり通信、運営推進会議などの報告で理解できる
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人家族の要望で入所前のかかりつけ医は継続しており、家族に受診の協力を貰うことは本人と家族のコミュニケーションにもなっており、医療連携シートを介して医療とも連携している。受診に付き添うこともある。又訪問診療医とも連携が取れており情報共有できる関係が出来ている			・個人によって、以前のかかりつけ医、訪問診療など相談しながら決められているのは、いいと思う
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は基本情報を提供し、病院関係者と情報交換を行い安心して入院できる環境支援を行い早期退院に努めている。退院時は地域連携室より情報説明受け介護計画書を提出する事もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設の終末期の指針を設け、出来るだけ早い段階から本人の意思家族の思いを確認しながら主治医と連携し事業所の対応出来る限り支援に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフ研修全体研修時に急変や事故発生時の対応を学び、夜間に際して対応手順のマニュアル、連絡手順のマニュアルなど作成している。又個別に心肺蘇生による救命の考え方についても家族と事前に打ち合わせしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段より地域住民との顔馴染みの関係を工夫し共助を期待し、自助のスタッフ間での日々の訓練シミュレーションを意識付け、前もって出来る対策消防士の協力お願いしBCP作成している	・全職員が理解していることはもとより、地域との連携は欠かせないものです	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・町内会役員に防災訓練に参加してもらい、災害時の連携について確認していた
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プライバシー保護、接遇の研修を行い、職員は常に前向きな姿勢で気づいたら職員間でも注意しあえる関係に努め、慣れ合いにならず利用者の尊厳を守るケアに努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・認知症の専門家としてよくやられているようだ
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方の生活のペース、こだわり、体調を尊重し天気の良い日は外気浴や土いじり、季節行事や日々の家事、菓子作りレクレーションに参加頂き充実した安心生活が送れるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケーキやおはぎ作り、希望のお食事、誕生日の献立と食事の場にも変化をつけ食事を楽しみ、食器拭きや野菜の下ごしらえ等職員と一緒にいった		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ケータリング業者に出前寿司店を開き握り寿司を利用したりおせち料理を外部の専門家より取り寄せたりホテルの高級弁当を提供したりと食事を楽しめる工夫をしていた
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	献立は管理栄養士が確認し、体重の増減や採血結果などで体調を確認、嚥下状態など確認し定期的にスクリーニングを行い、一人一人の状態に合わせた飲食提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に歯科医の指導を貰い職員は口腔ケアの重要性を理解し誤嚥性肺炎の予防に努め利用者に応じたケアの支援を行い経口摂取の維持に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のそれぞれのパターンを知り、トイレサインを見逃さない様誘導を行い、可能な限りトイレで用を足し、気持ちよく排泄できる事で、排泄の自立に向け支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態や本人の希望により入浴を行っている。好みのシャンプーや石鹸を使い、時には入浴剤を用いお風呂を楽しむ工夫をしている。又入浴を拒む方にはアプローチを工夫し状態によっては足浴、清拭、陰洗する事もある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間はその方のリズムに合わせて、その日の気分や体調で寝付けな時は暖かい飲み物やスタッフとゆっくり会話をしたり、寒い日は昼寝でも湯たんぽを入れたり肩揉みをして精神安定を図ることもある。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療記録に服薬記録があり、薬の内容を職員全員で理解に努め、服薬時は複数職員で確認を確実にしている。又服用しやすい形態を主治医や薬剤師に相談している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の趣味や得意なことをアセスメントを行いレクリエーションの中や自由な時間に取り組んで頂くことで回想や気分転換が機能訓練にもなっている。家事手伝いをされる方も多い	入所前の生活を理解し入所後も取り入れて頂く事は生活も楽しいでしょう、素晴らしい支援だと思います		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の希望や家族要望に沿って家族と協力し感染症に注意した上で外出支援を行っていた。但し必要な受診については家族と協力し外出されることはあった。戸外散歩の要望の為ウッドデッキを広げ外気良く楽しんで頂いた	・希望に沿ったたまの外出は気分転換になり、喜ばれると思います。又ウッドデッキでの会話も楽しそうです		・本人が楽しめる活動や外出など、工夫をお願いいたします。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が食べたいものや欲しいものを希望されると、家族に繋ぎ持ち込んで頂いたり、職員で購入している。購入金額は本人にも話し金銭感覚の維持を意識している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会規制中には県外の家族に写真や手紙を自ら出される方や定期的に電話が来たり、携帯を持っておられる方もあり、充電等職員の方で行った。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和室に仏壇があり毎朝手を合わせる方もある。日光の強い日はカーテンよしずを利用している。季節感には常に取り入れ居心地よく過ごせ、不快な音や室温にも注意している。除菌清掃、消毒細目に行っている。外気浴の為にテラスでゆっくりされる方もあった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はその方の生活歴や気持ち、性格を理解した上で、その方の表情や発語から満足して頂けるよう支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は 入所前のアセスメント、家族への聞き取り、スタッフからの情報等を把握し、その方が安心して満足した生活が出来るよう支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康観察、異常時の見極め、速やかな対応支援で健康を維持され過ごされている又その都度状態変化時は本人や家族にも説明行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の中で、個々のペースが乱されることもあるが、出来るだけ馴染みの関係性を築きそれぞれが満足されるようにその都度工夫し生活支援している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室に馴染みの家具や仏壇、ゲームや日記帳、本、塗り絵やドリルと持ち込んでされている方もある。又自室に家族写真を貼る方もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症や体調の関係で、希望に添えない事もあるが、代わりの物を検討するなど本人が納得されるように支援工夫した。又気分転換に戸外散歩や家族交流は随時行った。	・No.36と同じ意見です		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の状態に合わせレクリエーションの内容や、家事手伝い内容役割の理解実践など、機能訓練を兼ねて、それぞれが楽しめるように工夫し支援した。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はその方に合わせ信頼関係が築けるよう丁寧に会話をした。特に一对一の会話ではその方の話や回想を使い丁寧に傾聴する事でその方との関係も向上したと思われる。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員はまだ足りないとの思いで向上心を持っている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流に規制はあるも戸外散歩や避難誘導手伝い時には地域住民と会話される事や、校区運動会や地域ドライブ等の機会を作った。	・かねてからの地域との交流が非常時に発揮されると思います		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症を理解した職員がその方の尊厳を第一に優しい支援を実践するよう努めている。共同生活で不便なこともあるかもしれないが、満足度評価の結果も良く、ご利用者は安心して満足して頂いていると思っている。	・いろいろな場面での職員の努力は利用者も十分に理解されていると思います ・非常に熱心によくやっている ・会に参加すると良い勉強にもなった	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	